



# Soliton SecureBrowser II

Windows 版 Soliton SecureBrowser II  
V2.0.15 リリースノート

**Soliton**<sup>®</sup>

株式会社ソリトンシステムズ 2026年3月

Soliton SecureBrowser は、アイオナワークス株式会社のドキュメント処理技術を使用しています。

Soliton SecureBrowser は、株式会社ソリトンシステムズの商標です。

Soliton SecureGateway は、株式会社ソリトンシステムズの商標です。

その他、本書に記載の会社名、製品名等は、各社の商標または登録商標です。

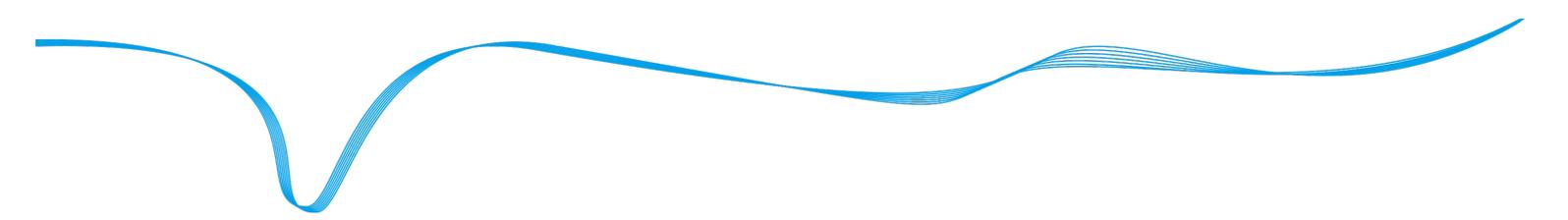
本文中に ™、®、©は明記していません。

© 2021 Soliton Systems K.K.

# 目次

---

1	本書について .....	5
2	新機能 .....	6
	 V2.0.13 からの新機能 .....	6
	 V2.0.11 からの新機能 .....	7
	 V2.0.10 からの新機能 .....	7
	 V2.0.9 からの新機能 .....	7
	 V2.0.8 からの新機能 .....	8
	 V2.0.5 からの新機能 .....	8
3	改善項目および変更項目 .....	9
	 3.1 改善項目 .....	9
	 V2.0.15 での改善項目 .....	9
	 V2.0.14 での改善項目 .....	9
	 V2.0.13 での改善項目 .....	9
	 V2.0.12 での改善項目 .....	10
	 V2.0.11 での改善項目 .....	10
	 V2.0.10 での改善項目 .....	11
	 V2.0.9 での改善項目 .....	11
	 V2.0.8 での改善項目 .....	13
	 V2.0.7 での改善項目 .....	14
	 V2.0.6 での改善項目 .....	14
	 V2.0.5 での改善項目 .....	15
	 3.2 変更項目 .....	17
	 V2.0.15 での変更項目 .....	17
	 V2.0.13 での変更項目 .....	17
	 V2.0.11 での変更項目 .....	17
	 V2.0.10 での変更項目 .....	17
	 V2.0.9 での変更項目 .....	18
	 V2.0.8 での変更項目 .....	18
	 V2.0.7 での変更項目 .....	19
	 V2.0.5 での変更項目 .....	19



4	制約事項および注意事項.....	21
5	アップデート .....	22
	■ 5.1 アップデート前の確認事項 .....	22
	■ 5.2 アップデート.....	22

# 1 本書について

---

いつも、株式会社ソリトンシステムズ オリジナルセキュリティ製品「Soliton SecureBrowser II（以降、SecureBrowser）」をご利用いただき、誠にありがとうございます。

SecureBrowser は、プロキシサーバーを搭載した弊社アプライアンス製品「Soliton SecureGateway」（以降、SecureGateway）を経由したネットワーク通信を行うことで、クライアント環境から社内やクラウドの Web システムへの安全なリモート Web アクセスを実現するための Web ブラウザーです。

本書は、Windows 版 SecureBrowser V2.0.15 での新機能、改善項目および変更項目、V2.0.15 へのアップデート方法について説明するリリースノートです。



---

**Windows 版 SecureBrowser V2.0.15 が動作するためには、バージョンが「130.0.2849.39」以降の WebView2 ランタイムが必要です。**

**Windows 版 SecureBrowser を使用する場合は、常に最新バージョンの WebView2 ランタイムがインストールされているコンピューター環境を使用いただくことを推奨します。**

---

本書とその他の関連ドキュメントの内容に矛盾がある場合は、本書の内容にしたがってください。

弊社の Web サイト (<https://www.soliton.co.jp/>) で、マニュアル、リリースノート、FAQ 情報など本製品に関する最新情報を提供していますので、あわせてご参照ください。

## 2 新機能

Windows 版 SecureBrowser で新たに追加した機能について説明します。

### V2.0.13 からの新機能

#### 【全般】

1. 初回ログイン時からユーザー名/パスワードを入力せずに自動ログインする機能を追加 (KBWB021988)  
初回ログイン時からユーザー名/パスワードを入力せずに SecureBrowser へ自動ログインする機能を追加しました。  
この機能は、SecureGateway の認証方式で「LDAP」を選択し、認証サーバーとして Active Directory を使用している場合にのみ動作します。  
この機能を利用するためには、SecureGateway V2.0.5 で追加された LDAP 認証設定の[自動ログイン]の設定で「有効にする」をチェックする必要があります。機能の詳細および注意事項については、「Soliton SecureGateway システム管理ページリファレンスマニュアル」を参照してください。
2. 接続先の SecureGateway を指定して起動する機能を追加 (KBWB021974)  
SecureBrowser に接続先の SecureGateway を指定して起動する機能を追加しました。  
使用方法については、「Windows 版 Soliton SecureBrowser II ユーザーズガイド」の「付録 4 接続先の SecureGateway を指定して起動」を参照してください。
3. 外部コマンドによって SecureBrowser をログアウトさせる機能を追加 (KBWB021972)  
外部コマンドによって起動中の SecureBrowser をログアウトさせる機能を追加しました。  
使用方法については、「Windows 版 Soliton SecureBrowser II ユーザーズガイド」の「付録 5 外部コマンドによるログアウト実行」を参照してください。

#### 【ブラウザー機能】

4. ダウンロードしたファイルを自動で開く機能を単体製品の SecureBrowser にも追加 (KBWB021968)  
SecureBrowser V2.0.11 で Soliton SecureWorkspace の隔離領域内で動作する SecureBrowser に追加したダウンロードしたファイルを開く動作を設定できる機能のうち、ファイルのダウンロード完了通知を表示したタイミングでファイルを自動で開く機能を単体製品の SecureBrowser にも追加しました。
5. ダウンロードフォルダーからドラッグ&ドロップでファイルをアップロードする機能を追加 (KBWB021828)  
プロファイルで[ファイルのアップロード]を「許可する」、[ファイルのアップロード元の選択]に「ダウンロードフォルダー」または「両方」を設定している環境で、ダウンロードフォルダーから SecureBrowser が表示している Web ページへドラッグ&ドロップでファイルをアップロードする機能を追加しました。  
この機能は、単体製品の SecureBrowser でのみ動作します。



## V2.0.11 からの新機能

### 【ブラウザー機能】

1. ダウンロードしたファイルを開く動作を設定できる機能を追加 (KBWB021353)

ブラウザーメニューの[環境設定]に[コンテンツ設定]タブを追加し、ファイルのダウンロード完了通知を表示したタイミングでファイルを自動で開く設定、Microsoft Office ファイルや PDF ファイルをドキュメントビューアーで開くか隔離領域内で動作するアプリケーションで開くかを設定できる機能を追加しました。この機能は、Soliton SecureWorkspace の隔離領域内で動作する SecureBrowser にのみ表示されます。

この機能追加にともない、Soliton SecureWorkspace の隔離領域内で動作する SecureBrowser でダウンロード完了通知に表示される<アプリで開く>のボタンを削除し、<ビューアーで開く>のボタンは<開く>に名称を変更しました。

2. Soliton Browser Switching Tool 使用時に SecureBrowser から Microsoft Edge / Google Chrome を起動できる機能を追加 (KBWB021351)

Soliton Browser Switching Tool 使用時、SecureBrowser で URL リンクを開く操作を行った際に Microsoft Edge / Google Chrome を起動できる機能を追加しました。

この機能は、Soliton Browser Switching Tool V1.0.1 で対応しています。

## V2.0.10 からの新機能

### 【全般】

1. 前回ログインした認証情報を使用して自動でログインする機能を追加 (KBWB020842)

前回ログインしたユーザー名/パスワードの認証情報を保持し、次回以降は保持している認証情報を使用して自動でログインする機能を追加しました。

この機能を利用するためには、SecureGateway V2.0.3 で追加された[ログインパスワード]の設定で「保持する」を選択する必要があります。

2. 印刷時にファイル出力するアプリケーションのファイル出力先を隔離領域内に制限する機能を追加 (KBWB020825)

Print Spooler サービスを使用して印刷時にファイルを出力するアプリケーション (Microsoft Print to PDF など) のファイル出力先を、隔離領域内に制限する機能を追加しました。

この機能を利用するためには、SecureGateway V2.0.3 で追加された「作成された印刷データを隔離領域内に保存する」の設定をチェックする必要があります。

## V2.0.9 からの新機能

### 【ブラウザー機能】

1. ファイルのダウンロード時に隔離領域内のアプリケーションを起動してファイルを開く機能を追加 (KBWB020035)

ファイルをダウンロードすると画面下部に表示されるダウンロード完了通知に、<アプリで開く>のボタンを追加しました。このボタンは、Soliton SecureWorkspace の隔離領域内で動作する SecureBrowser にのみ表示されます。<アプリで開く>をクリックすると、隔離領域内で動作するアプリケーションでファイルを開きます。



この機能追加にともない、ダウンロード完了通知に表示される<開く>のボタンは<ビューアーで開く>に名称を変更しました。

## V2.0.8 からの新機能

### 【ブラウザー機能】

#### 1. 自動 HTTPS を無効にする機能を追加 (KBWB018952)

ブラウザーメニューの[環境設定]-[詳細]タブに、HTTP 接続を自動的に HTTPS 接続へリダイレクトする動作を無効にする機能を追加しました。

機能の詳細については、「Windows 版 Soliton SecureBrowser II ユーザーズガイド」を参照してください。

## V2.0.5 からの新機能

### 【全般】

#### 1. SecureBrowser Pro の起動メニューを非表示にできる機能を追加 (KBWB017053)

ブラウザーメニューに表示される SecureBrowser Pro の起動メニューを非表示にできる機能を追加しました。

この機能を利用するためには、SecureGateway V2.0.0 で追加された[SecureBrowser Pro の起動]の設定で「許可しない」を選択する必要があります。

#### 2. Windows 11 で外部アプリから SecureBrowser を起動する機能を追加 (KBWB017159)

Windows 11 で、外部アプリからの呼び出しによって SecureBrowser を起動し任意の Web サイトを開くことができる機能を追加しました。Windows 10 に対しては、V2.0.1 で対応済みです。

使用方法については、「Windows 版 Soliton SecureBrowser II ユーザーズガイド」の「付録 3 外部アプリからの SecureBrowser 起動」を参照してください。

## 3 改善項目および変更項目

Windows 版 SecureBrowser の改善項目および変更項目について説明します。

### 3.1 改善項目

#### V2.0.15 での改善項目

##### 【全般】

1. ローカルから不正なコードが実行される脆弱性 (KBWB022878)  
インストールフォルダーを標準のフォルダーから変更している場合に、システム権限で任意のコードが実行される可能性がある脆弱性 (CVE-2026-27653) を修正しました。
2. SecureBrowser を使用中に BSoD が発生する場合がある (KBWB022869)  
SecureBrowser の内部的な動作ログが短時間に集中して出力されるような環境において BSoD が発生する場合がある問題を修正しました。

#### V2.0.14 での改善項目

##### 【全般】

1. 印刷データを隔離領域内に保存する設定がされている環境では Microsoft OneNote の仮想プリンターを使用できないように修正 (KBWB022642)  
プロファイルの[印刷]で「許可する」を設定し[作成された印刷データを隔離領域内に保存する]をチェックしている環境では、SecureBrowser から Microsoft OneNote の仮想プリンターを使用できないように修正しました。

#### V2.0.13 での改善項目

##### 【ブラウザー機能】

1. ファイル名が長い複数のファイルをまとめてアップロードしようとするとうアップロードに失敗する (KBWB022023)  
ダウンロードフォルダーからファイル名が長い複数のファイルをまとめてアップロードした場合、すべてのファイル名の合計サイズが 2,048 バイトを超えるとアップロードに失敗する問題を修正しました。
2. Windows の環境変数に「\_\_COMPAT\_LAYER」が設定されている環境では Web サイトが正常に表示されない (KBWB022383)  
Windows の環境変数に「\_\_COMPAT\_LAYER」が設定されている環境では、SecureBrowser で Web サイトが正常に表示されない問題を修正しました。
3. WebView2 プロセスが異常終了した場合の処理を改善 (KBWB022465)  
Web サイト閲覧中に WebView2 プロセスが異常終了した場合の処理の見直しと改善を行いました。

4. パスワード付きの Excel ファイルを開く際にパスワードの入カウィンドウが中央に表示されない場合がある (KBWB021860)

ドキュメントビューアーでパスワード付きの Excel ファイルを開く際に、パスワードの入カウィンドウが中央に表示されない場合がある問題を修正しました。

5. 接続先の SecureGateway が複数存在する環境でブックマークバーが表示されなくなる場合がある (KBWB021940)

SecureBrowser のブラウザーメニューでブックマークバーを表示するように設定していても、個人ブックマークの利用を許可している SecureGateway → 許可していない SecureGateway → 許可している SecureGateway の順番に接続すると、ブックマークバーが表示されなくなる問題を修正しました。

6. 最終ログイン日からの経過日数によって自動でログアウトする機能が動作しない (KBWB022240)

プロファイルの[最終ログイン日からの経過日数でログアウト]が設定されている環境で、予定日時が到来しても自動でログアウトする機能が動作しない問題を修正しました。

この問題は、SecureBrowser V2.0.9 以降で発生していました。

## V2.0.12 での改善項目

### 【全般】

1. 負荷分散構成の SecureGateway に SecureBrowser からログインできない場合がある (KBWB022095)

負荷分散構成の SecureGateway に SecureBrowser からログインできない場合がある問題を修正しました。

この問題は、以下のすべての条件に該当する場合に発生していました。

- SecureGateway を負荷分散構成にしている
- SecureBrowser V2.0.11 を使用している
- クライアント証明書認証を有効にしている
- ネットワークフォルダー機能を設定していない (※)

※ 当該機能が存在しない旧バージョンの SecureGateway を使用している場合も該当します。

既にこの問題が発生している環境では、SecureBrowser を V2.0.12 へアップデート後、変更を反映するためにコンピューターの再起動を行ってください。

## V2.0.11 での改善項目

### 【全般】

1. ユーザー名/パスワード間違いでログイン失敗後に<キャンセル>をクリックするとアプリケーションエラーが発生する (KBWB021629)

接続先の SecureGateway が 1 件のみ登録された設定情報をインポートした環境で、ユーザー名/パスワード間違いでログイン失敗後に<キャンセル>をクリックすると SecureBrowser のアプリケーションエラーが発生する問題を修正しました。

2. SmartOn ID の Pass 機能を使用して SecureBrowser ヘシングルサインオンできない場合がある (KBWB021662)

接続先の SecureGateway が 1 件のみ登録された設定情報をインポートした環境で、SmartOn ID の Pass 機能を使用して SecureBrowser ヘシングルサインオンできない場合がある問題を修正しました。

## 【ブラウザー機能】

- SecureBrowser の起動に時間がかかる場合がある (KBWB021012)  
コード署名の検証が行われた場合に SecureBrowser の起動に時間がかかる問題を修正しました。
- 隔離領域外への貼り付けを許可している環境で Web ページ上のコンポーネントをドラッグ&ドロップできない (KBWB021866)  
プロファイルの[隔離領域外への貼り付け]で「許可する」を設定し[テキストの貼り付けのみ許可する]をチェックしていない環境で、Web ページ上のコンポーネントをドラッグ&ドロップできない問題を修正しました。  
この問題は、SecureBrowser V2.0.9 以降で発生していました。
- ドキュメントビューアーの不具合修正 (KBWB019510、KBWB021651)  
ドキュメントビューアーを更新し、以下の問題を修正しました。
  - 拡張子が.docx の Word ファイルでテキストの選択ができない
  - Excel ファイルを開くと SecureBrowser のアプリケーションエラーが発生する場合がある
  - Word ファイルを開くと SecureBrowser のアプリケーションエラーが発生する場合がある

## V2.0.10 での改善項目

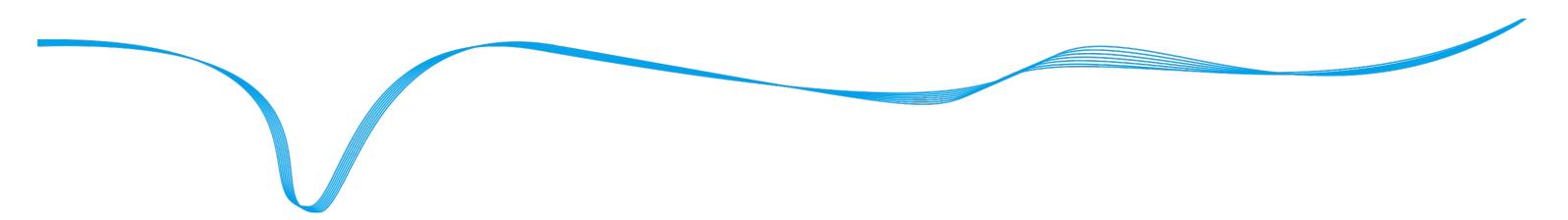
### 【全般】

- セキュリティアップデート (KBWB021221)  
CVE-2024-48510 の対策を行いました。
- スマートアプリコントロールを有効にしている環境で SecureBrowser のインストールに失敗する (KBWB020980)  
Windows 11 のスマートアプリコントロールを有効にしている環境で、SecureBrowser のインストールに失敗する問題を修正しました。

## V2.0.9 での改善項目

### 【全般】

- splwow64.exe のプロセスが起動しているとファイルを印刷できない場合がある (KBWB019670)  
SecureBrowser のドキュメントビューアーおよび隔離領域外で、それぞれ splwow64.exe のプロセスが起動するファイルを開いている場合、どちらか一方のファイルが印刷できなくなる問題を修正しました。
- クライアント証明書が失効している場合に誤ったエラーコードが Utility に出力される (KBWB020277)  
TLS 1.3 を使用して通信を行っている環境で、クライアント証明書が失効している場合に誤ったエラーコードが Utility に出力される問題を修正しました。
- クライアント証明書の再取得に失敗する場合がある (KBWB019847)  
Windows のユーザーセッションが複数存在する環境で、クライアント証明書の再取得に失敗して SecureGateway に接続できず、SecureBrowser で Web サイトが閲覧できなくなるなどの現象が発生する問題を修正しました。

- 
4. 「WrappingBox サービスへのログインに失敗しました」が表示され SecureBrowser にログインできない場合がある (KBWB019767)

IPv6 アドレスを利用している環境で、SecureBrowser ログイン時に「WrappingBox サービスへのログインに失敗しました」というメッセージが表示され、ログインできない場合がある問題を修正しました。

5. VMware Workstation が正常に操作できない場合がある (KBWB020379)

プロファイルの[隔離領域外への貼り付け]で「許可しない」を設定している、または[隔離領域外への貼り付け]で「許可する」を設定し[テキストの貼り付けのみ許可する]をチェックしている環境で、SecureBrowser を起動していると VMware 社の VMware Workstation が正常に操作できない場合がある問題を修正しました。

6. 1 度のログインでログインログが 2 件出力される場合がある (KBWB020312)

SecureBrowser ログイン時に、1 度のログインで SecureGateway の syslog へログインログが 2 件出力される場合がある問題を修正しました。

7. 隔離領域内の画面キャプチャを許可していない Windows 11 で、[PrintScreen]のキー操作によって Snipping Tool を起動できる場合がある (KBWB020405)

プロファイルの[隔離領域外への貼り付け]で「許可しない」を設定している、または[隔離領域外への貼り付け]で「許可する」を設定し[テキストの貼り付けのみ許可する]をチェックしている環境において、Windows 11 で[PrintScreen キーを使用して画面キャプチャを開く]を「ON」に設定していると [PrintScreen]のキー操作によって Snipping Tool を起動できる場合がある問題を修正しました。

#### 【ブラウザ機能】

8. SecureBrowser からログアウトした際に Cookie が保存されない場合がある (KBWB020513)

プロファイルの[閲覧データの保存]で「許可する」を設定していても、SecureBrowser からログアウトした際に Cookie が保存されない場合がある問題を修正しました。

9. Web ページを移動してもツールバーの<戻る>が有効にならない場合がある (KBWB019188)

Web ページを移動しても、ツールバーの<戻る>が有効にならない場合がある問題を修正しました。

10. ファイルアップロード時にローカルフォルダーを選択すると「指定されたパスが見つかりません」というメッセージが表示される (KBWB019043)

プロファイルの[ファイルのアップロード元の選択]で「両方」を設定している環境で、ダウンロードフォルダーからファイルをアップロード後にローカルフォルダーを選択すると、「指定されたパスが見つかりません」というメッセージが表示される問題を修正しました。

11. SecureBrowser 操作中にアプリケーションエラーが発生する場合がある (KBWB020108)

ファビコンのサイズが膨大な Web サイトにアクセスすると、SecureBrowser 操作中にアプリケーションエラーが発生する場合がある問題を修正しました。

12. 特定の Web サイトでファイルのアップロードが失敗する場合がある (KBWB019950)

特定の Web サイトでファイルのアップロード時にメモリ使用量が多くなり、アップロードが失敗する場合がある問題を緩和するための対応を行いました。

13. タブが閉じられたことを SecureBrowser が検知できない場合がある (KBWB019114)

特定の Web サイトで、タブが閉じられたことを SecureBrowser が検知できない場合がある問題を修正しました。

#### 14. JavaScript の File System Access API が使われている Web サイトでファイルのアップロードやダウンロードが失敗する (KBWB020620)

JavaScript の File System Access API が使われている Web サイトで、ファイルのアップロードやダウンロードが失敗する問題を修正しました。

## V2.0.8 での改善項目

### 【全般】

1. ユーザー名にパーセント(%)が含まれているとアプリケーションエラーが発生する場合がある (KBWB018677)

SecureBrowser へログインするユーザー名にパーセント(%)が含まれていると、ログイン時またはログイン後の操作中にアプリケーションエラーが発生する場合がある問題を修正しました。
2. ユーザー名にパーセント(%)が含まれていると個別プロファイルが適用されない (KBWB018907)

SecureBrowser へログインするユーザー名にパーセント(%)が含まれていると、個別プロファイルが適用されない問題を修正しました。
3. シングルクォーテーション(')で括られたユーザー名ではログインに失敗する (KBWB018894)

「user」のようにシングルクォーテーション(')で括られたユーザー名では、SecureBrowser へのログインに失敗する問題を修正しました。
4. [隔離領域外からの貼り付け]を「許可しない」に設定していても隔離領域外のファイルを参照できる場合がある (KBWB018638)

プロファイルで[隔離領域外からの貼り付け]を「許可しない」に設定していても、隔離領域外の特定フォルダーに存在するファイルを参照できる場合がある問題を修正しました。
5. マルチディスプレイ環境で SecureBrowser を囲うフレームの位置がずれる場合がある (KBWB018993)

表示スケールを 100%以外に設定しているディスプレイや異なる解像度のディスプレイでマルチディスプレイを構成している場合、SecureBrowser を囲うフレームの位置がずれる問題を修正しました。

この修正にともない、複数のディスプレイを跨いで SecureBrowser を表示している場合は、SecureBrowser の表示領域が最も大きいディスプレイにのみフレームが表示されるようになります。
6. ファイル名に全角のマイナス(-)が含まれているファイルを圧縮すると解凍に失敗する (KBWB018506)

ダウンロードフォルダー内でファイル名に環境依存文字である全角のマイナス(-)が含まれているファイルを圧縮すると、該当ファイルの解凍に失敗する問題を修正しました。
7. FileZen S へのファイルアップロードに連続して失敗すると FileZen S にアクセスできなくなる場合がある (KBWB018552)

ダウンロードフォルダー操作メニューの「FileZen S にアップロード」を使用した FileZen S へのファイルアップロードに連続して失敗すると、FileZen S にアクセスできなくなる場合がある問題を修正しました。
8. FileZen S へファイルをアップロードできない場合がある (KBWB018187)

SecureBrowser へログインしているユーザーのパスワードに以下のいずれかの記号が含まれている場合、ダウンロードフォルダー操作メニューの「FileZen S にアップロード」を使用して FileZen S へのファイルアップロードを行っても、FileZen S へのログインに失敗しファイルのアップロードができない問題を修正しました。

  - スラッシュ(/)、円記号(¥)、ダブルクォーテーション(")

## 【ブラウザー機能】

9. 連続して新規タブを開くとアプリケーションエラーが発生する場合がある (KBWB018720)

SecureBrowser で連続して新規タブを開くと、アプリケーションエラーが発生する場合がある問題を修正しました。
10. ユーザー名にナンバー(#)が含まれているとユーザー情報保存サービスが利用できない (KBWB018655)

SecureBrowser ヘロログインするユーザー名にナンバー(#)などの URL エンコードが必要な文字が含まれていると、ユーザー情報保存サービスを利用できない問題を修正しました。
11. パスワードに円記号(¥)やシングルクォーテーション(')が含まれているとシングルサインオン機能が正常に動作しない (KBWB018888)

プロファイルのシングルサインオン設定を使用している環境で、ユーザーのパスワードに円記号(¥)やシングルクォーテーション(')が含まれているとシングルサインオン機能が正常に動作しない問題を修正しました。
12. ダウンロードフォルダー内のファイルをダブルクリックすると背面にあるブックマークバーのリンクもクリックされてしまう (KBWB019115)

ダウンロードフォルダー内のファイルをダブルクリックした際、ダブルクリックした箇所と背面にあるブックマークバーのリンクが重なっていると、ブックマークバーのリンクもクリックされてしまう問題を修正しました。
13. ダウンロードフォルダー内のファイルの更新日時が正しく表示されない場合がある (KBWB018365)

ダウンロードフォルダー内のファイルの更新日時が正しく表示されない場合がある問題を修正しました。
14. ドキュメントビューアーの不具合修正 (KBWB018589)

ドキュメントビューアーを更新し、以下の問題を修正しました。

  - Excel ファイルを開くと SecureBrowser のアプリケーションエラーが発生する場合がある
  - Word ファイルを開くと SecureBrowser のアプリケーションエラーが発生する場合がある
  - Word ファイルを開いてもドキュメントの中身が表示されない場合がある
  - ドキュメント内の和暦表示が令和でなく平成として表示される
  - Microsoft Office ファイルを印刷するとドキュメント名が「Smart Office Document」として印刷される

## V2.0.7 での改善項目

### 【全般】

1. タッチパッドで行う操作が正常に動作しない (KBWB018621)

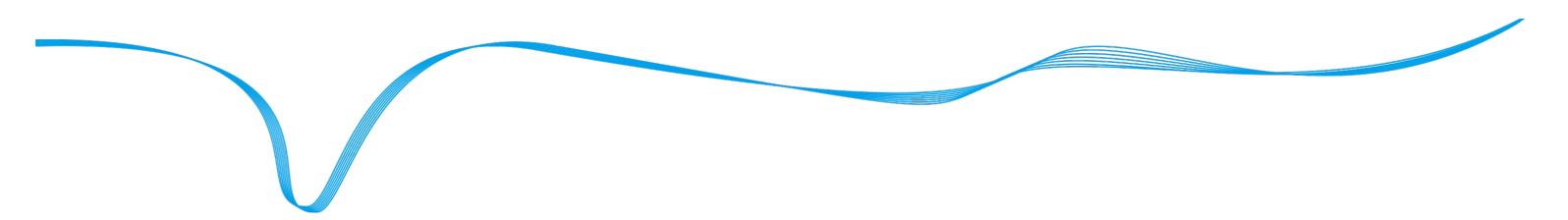
タッチパッドで行うスクロール、ピンチイン、ピンチアウトなどの操作が正常に動作しない問題に対応しました。

## V2.0.6 での改善項目

### 【ブラウザー機能】

1. セキュリティアップデート (KBWB018440)

CVE-2023-4863 の対策を行った libwebp にアップデートしました。

- 
2. Web ページのタブが自動で閉じられた際にアプリケーションエラーが発生する場合がある (KBWB018455)

操作していた Web ページのタブを自動で閉じるように動作する Web サイトで、Web ページのタブが自動で閉じられた際にアプリケーションエラーが発生する場合がある問題を修正しました。

## V2.0.5 での改善項目

### 【全般】

1. SecureBrowser でログイン時にアプリケーションエラーが発生する場合がある (KBWB016965)  
プロファイルで[閲覧データの保存]に「許可する」を設定していると、SecureBrowser でログイン時にアプリケーションエラーが発生する場合がある問題を修正しました。
2. 他のアプリケーションが異常終了する場合がある (KBWB017206)  
プロファイルの[隔離領域外への貼り付け]で「許可しない」を設定している、または[隔離領域外への貼り付け]で「許可する」を設定し[テキストの貼り付けのみ許可する]をチェックしている環境で、SecureBrowser を起動していると他のアプリケーションが異常終了する場合がある問題を修正しました。
3. Adobe Acrobat Reader DC を起動できない場合がある (KBWB017193)  
プロファイルの[隔離領域外への貼り付け]で「許可しない」を設定している、または[隔離領域外への貼り付け]で「許可する」を設定し[テキストの貼り付けのみ許可する]をチェックしている環境で、SecureBrowser を起動していると Adobe Acrobat Reader DC を起動できない場合がある問題を修正しました。
4. メモ帳のタブを追加するとメモ帳が強制的に終了してしまう (KBWB017944)  
SecureBrowser を起動している Windows 11 環境で、メモ帳のタブを追加するとメモ帳が強制的に終了してしまう問題を修正しました。
5. 多要素認証が必要な環境で SecureBrowser のログインに失敗する場合がある (KBWB016270)  
多要素認証が必要な環境で SecureBrowser のログインに失敗する場合がある問題を修正しました。

### 【ブラウザ機能】

6. ウィンドウを移動すると SecureBrowser がフリーズまたは異常終了する場合がある (KBWB017289)  
新規タブにクイックアクセスを表示する設定がされている環境で、新規タブを開いた直後にウィンドウを移動すると SecureBrowser がフリーズまたは異常終了する場合がある問題を修正しました。
7. ZIP ファイルを展開できない場合がある (KBWB017173)  
ダウンロードフォルダー内の ZIP ファイルを展開できない場合がある問題を修正しました。
8. 同じ名前の CSV ファイルを連続で開くと最後に開いたファイルが表示されない (KBWB017164)  
ファイルの中身が異なる同じ名前の CSV ファイルを連続で開いた場合、最後に開いたファイルが表示されない問題を修正しました。
9. Web キャプチャ機能を使用して画像ファイルを保存することができない (KBWB016966)  
Web キャプチャ機能を使用して画像ファイルを保存することができない問題を修正しました。Web キャプチャ機能を使用した場合、画像ファイルはダウンロードフォルダーに保存されます。

10. [閲覧データの保存]を「許可する」に設定している場合にプロキシ認証ダイアログの表示が適切に行われない (KBWB017089)

プロファイルで[閲覧データの保存]を「許可する」に設定している場合、以下のようにプロキシ認証ダイアログの表示が適切に行われない問題を修正しました。

- 基本認証やプロキシ認証が必要なコンテンツをロードするページでプロキシ認証ダイアログが表示されない
- SecureBrowser が保存しているプロキシ認証情報が適用されずにプロキシ認証ダイアログが表示される場合がある

11. Web ページの表示処理に時間がかかるとタブを閉じてしまう (KBWB017163)

Web ページの表示処理に時間がかかるなどで一時的に Web ページからの応答がない状態が発生すると、SecureBrowser がタブを閉じてしまう問題を修正しました。

12. Web ページの拡大/縮小率を変更した状態でページ移動した際、移動先の Web ページが一時的に 100% 表示されてしまう (KBWB017629)

SecureBrowser のズーム設定で Web ページの拡大/縮小率を 100% 以外に変更した状態でページ移動した際、移動先の Web ページが一時的に 100% 表示されてしまう問題を修正しました。

13. 表示する文字の大きさを変更した環境で一部の文字が見切れて表示される (KBWB017571)

Windows の[設定]-[簡単設定]で文字を大きく表示するように変更した環境で、一部の文字が見切れて表示される問題を修正しました。

14. URL エンコードされた文字列がアドレスバーに正しく表示されない場合がある (KBWB017579)

SecureBrowser は URL エンコードされた文字列をデコードした状態でアドレスバーに表示しますが、印字可能でない文字が含まれているとアドレスバーに正しく URL が表示されない問題があったため、URL エンコードされた文字列に印字可能でない文字が含まれている場合は、エンコードされたままの URL をアドレスバーに表示するように修正しました。

15. FileZen S へのファイルアップロードに失敗する (KBWB017301)

FileZen S で[アップロード毎のサイズ制限]を 2,048MB 以上に設定している場合、SecureBrowser から FileZen S へのファイルアップロード時に「FileZen S へのログインに失敗しました」のエラーメッセージが表示され、ファイルのアップロードに失敗する問題を修正しました。

16. 隔離領域内のファイルのみアップロードを許可している環境で、FileZen または FileZen S のサービスページに隔離領域外のファイルを 0KB のファイルとしてドラッグ&ドロップできてしまう (KBWB017963)

プロファイルで[ファイルのアップロード]を「許可する」、[ファイルのアップロード元の選択]を「ダウンロードフォルダー」、[隔離領域外からのデータ参照と貼り付け]を「許可しない」に設定している環境で、FileZen または FileZen S のサービスページに隔離領域外のファイルを 0KB のファイルとしてドラッグ&ドロップできてしまう問題を修正しました。

## 3.2 変更項目

### V2.0.15 での変更項目

#### 【全般】

1. SecureBrowser のインストールフォルダーを変更できないように変更 (KBWB022885)

V2.0.14 以前ではインストール時にインストールフォルダーを変更できましたが、V2.0.15 以降ではインストールフォルダーを変更できないようにしました。

SecureBrowser は、以下のように Program Files (x86)フォルダー配下へインストールされます。

C:¥Program Files (x86)¥Soliton WrappingBox

なお、SecureBrowser を標準のフォルダー以外にインストールしている環境からアップデートした場合は、アップデート時にインストールフォルダーが上記フォルダーに自動で変更されます。アップデート時の制約事項については、「5.1 アップデート前の確認事項」を参照してください。

### V2.0.13 での変更項目

#### 【全般】

1. エラーメッセージの変更 (KBWB022079)

エラー発生時に表示されるメッセージの見直しと変更を行いました。

### V2.0.11 での変更項目

#### 【ブラウザー機能】

1. シングルサインオン実行時に自動入力完了したことを判定する条件を変更 (KBWB013969)

プロファイルにシングルサインオン設定が登録されている場合、SecureBrowser は該当する URL にアクセスした際にシングルサインオンを実行しますが、シングルサインオン実行時に自動入力完了したことを判定する条件を以下のように変更しました。

変更前) アカウントとパスワードの入力が成功し、ボタンを押下 (またはフォームをサブミット) する

変更後) アカウントかパスワードのいずれかの入力が成功する

### V2.0.10 での変更項目

#### 【全般】

1. Windows のポリシー設定で「svchost.exe 軽減オプションを有効にする」が有効になっている場合はログインできないように変更 (KBWB020953)

Windows のポリシー設定の「svchost.exe 軽減オプションを有効にする」が有効になっている環境では SecureBrowser が正常に動作しないため、「svchost.exe のプロセス軽減オプションが有効になっています」というメッセージを表示し SecureBrowser にログインできないようにしました。

## V2.0.9 での変更項目

### 【ブラウザ機能】

1. WebResourceRequested の使用/不使用を切り替える機能に対応 (KBWB020124)  
SecureBrowser の WebResourceRequested の使用/不使用を切り替える機能に対応しました。  
この機能を利用するためには、SecureGateway V2.0.2 で追加された[WebResourceRequested の使用]の設定を変更する必要があります。
2. http/2 を無効化 (KBWB019756)  
ファイルのアップロード時に http/2 の処理が原因で通信が遅延する問題に対応するため、SecureBrowser では http/2 を無効化しました。
3. 隔離領域内の画面キャプチャを許可していない環境では右クリックメニューの「スクリーンショット」を非表示にするよう変更 (KBWB019353)  
プロファイルの[隔離領域外への貼り付け]で「許可しない」を設定している、または[隔離領域外への貼り付け]で「許可する」を設定し[テキストの貼り付けのみ許可する]をチェックしている環境では、ブラウザ画面の右クリックメニューの「スクリーンショット」を非表示にするよう変更しました。

## V2.0.8 での変更項目

### 【全般】

1. DataExchangeHost.exe のプロセスが起動していても SecureBrowser へログインできるように変更 (KBWB018672)  
V2.0.7 以前では DataExchangeHost.exe のプロセスが起動している間は SecureBrowser へログインできませんでしたが、V2.0.8 以降ではログインできるように変更しました。
2. SecureBrowser を管理者権限で起動しても正常に動作するように変更 (KBWB018909)  
SecureBrowser を管理者権限（ビルトインアカウント「Administrator」を除く）で起動しても、正常に動作するように変更しました。  
V2.0.8 以降では、以下のような状況で起動されても SecureBrowser を使用できます。
  - SecureBrowser を「管理者として実行」で起動する
  - ユーザーアカウント制御(UAC)が無効な Windows 環境に管理者権限のユーザーでログインし、SecureBrowser を起動する以下の状況で起動された場合のみ、エラーメッセージを表示し SecureBrowser の起動を中止します。
  - ローカル/ドメインのビルトインアカウント「Administrator」または「Guest」で Windows にログインし、SecureBrowser を起動する
3. 最大化表示している SecureBrowser のフレームの太さを変更 (KBWB018654)  
SecureBrowser を最大化表示している間は、SecureBrowser の画面を囲うフレームを非最大化表示時より細く表示するように変更しました。

## V2.0.7 での変更項目

### 【全般】

#### 1. SecureBrowser を管理者権限で起動できないように変更 (KBWB018630)

SecureBrowser を管理者権限で起動できないようにしました。

以下のような状況で SecureBrowser が起動された場合は、エラーメッセージを表示し SecureBrowser の起動を中止します。

- ローカル/ドメインのビルトインアカウント「Administrator」で Windows にログインし、SecureBrowser を起動する
- SecureBrowser を「管理者として実行」で起動する

## V2.0.5 での変更項目

### 【全般】

#### 1. Windows on ARM 環境には SecureBrowser をインストールできないように変更 (KBWB017067)

サポート対象外の Windows on ARM 環境では、インストーラーを実行した際にエラーメッセージを表示し、SecureBrowser をインストールできないようにしました。

#### 2. ログイン画面にクライアント証明書の警告/エラーメッセージを表示するように変更 (KBWB017454)

クライアント証明書認証が有効な環境で SecureBrowser へログインする際、前回ログイン時に使用したクライアント証明書の有効期限が近い/有効期限が切れている、またはクライアント証明書が存在しない場合は、ログイン画面にクライアント証明書の警告/エラーメッセージを表示するようにしました。

#### 3. SecureGateway の接続可能アプリバージョンに対応 (KBWB017345)

SecureGateway で指定されたバージョン未満の場合、SecureGateway に接続できないようにする機能に対応しました。

この機能を利用するためには、SecureGateway V2.0.0 で追加された[接続可能アプリバージョン]でバージョンを指定する必要があります。

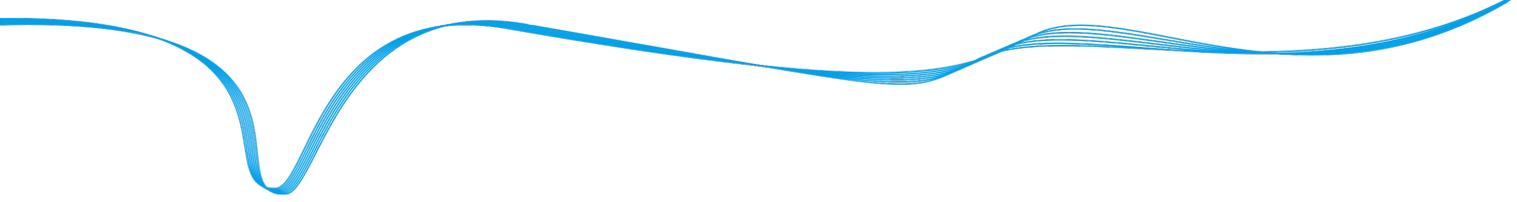
#### 4. WrappingBox と単体製品の SecureBrowser が共存してしまった環境でアンインストールが行えるように変更 (KBWB017872)

通常は WrappingBox と単体製品の SecureBrowser が共存できないようにインストーラーが制御を行いますが、インストーラーの実行タイミングによっては WrappingBox と単体製品の SecureBrowser を両方インストールできてしまう場合があります。

このような場合に、WrappingBox および SecureBrowser のアンインストールを行うことができなかったため、以下の手順でアンインストールを行えるようにしました。

1. 先にアンインストールする製品の「修復インストール」を行ってください。修復時にファイルを要求するダイアログが表示された場合は、インストール時に使用したインストーラーを指定してください。
2. 先にアンインストールする製品の「アンインストール」を行ってください。
3. 残った製品の「修復インストール」を行ってください。修復時にファイルを要求するダイアログが表示された場合は、インストール時に使用したインストーラーを指定してください。
4. 残った製品の「アンインストール」を行ってください。

※この変更は、WrappingBox が V1.4.0 以降、単体製品の SecureBrowser が V2.0.5 以降で対応しています。修復インストール/アンインストールの方法については、各ユーザーズガイドもあわせて参照してください。



## 【ブラウザー機能】

5. ウィンドウタイトルに Web サイトのタイトルを表示 (KBWB017831)

SecureBrowser のウィンドウタイトルに Web サイトのタイトルを表示するようにしました。
6. SecureBrowser が使用している WebView2 ランタイムのバージョンを表示 (KBWB017768)

バージョン情報の画面に、SecureBrowser が使用している WebView2 ランタイムのバージョンを表示するようにしました。
7. 印刷プレビューを表示するための内部処理を変更 (KBWB017208)

SecureBrowser で印刷プレビューを表示するための内部処理を変更しました。  
この変更による印刷プレビュー動作の変更はありません。
8. Web サイトの閲覧履歴を SecureGateway へ接続するユーザー単位で保持するように変更 (KBWB017073)

Web サイトの閲覧履歴はコンピューターへログインするユーザー単位で保持していましたが、Cookie やプロキシ認証情報と同じように SecureGateway へ接続するユーザー単位で保持するように変更しました。



## 4 制約事項および注意事項

---

Windows 版 SecureBrowser の制約事項/注意事項については、弊社 Web サイト内の FAQ で公開しています。詳細については、FAQ サイト (<https://faq1.soliton.co.jp/>) を参照してください。

## 5 アップデート

Windows 版 SecureBrowser V2.0.15 へのアップデート手順について説明します。

Windows 版 SecureBrowser V2.0.15 に直接アップデートできるバージョンは、V2.0.x となります。

### 5.1 アップデート前の確認事項

- Windows 版 SecureBrowser が動作するためには WebView2 ランタイムが必要です。コンピューターに WebView2 ランタイムがインストールされていない場合は、アップデート前に WebView2 ランタイムをインストールしてください。WebView2 ランタイムの入手方法については、弊社の SecureBrowser ダウンロードサイトを参照してください。
- Windows 版 SecureBrowser Pro V1.8.x からのアップデートはサポート対象外となります。Windows 版 SecureBrowser Pro V1.8.x がインストールされている場合はアンインストールしてください。
- SecureBrowser にログインしている場合はログアウトしてください。



インストールフォルダーを標準のフォルダーから変更している場合、V2.0.15 以降へアップデートすると SecureBrowser のインストールフォルダーが以下のように Program Files (x86) フォルダー配下に自動で変更されます。

**C:¥Program Files (x86)¥Soliton WrappingBox**

また、当該環境においては以下の制約事項がありますので注意してください。

- SecureBrowser のインストールフォルダーにインストールモジュール以外のファイルが存在していた場合、そのファイルはアップデート時に削除されません。手動で削除してください。
- Windows のデスクトップなどに SecureBrowser の実行ファイル「SandboxMain.exe」へのショートカット（SecureBrowser のショートカット）を作成していた場合、アップデート後にリンク切れの状態になります。必要に応じてショートカットを再作成してください。

### 5.2 アップデート

1. SecureBrowser をインストールするコンピューターにログインします。
2. 「SolitonSecureBrowserIIV20x.exe」をダブルクリックすると、セットアップ画面が表示されます。<インストール>をクリックしてください。  
※ユーザーアカウント制御の確認画面が表示された場合は、<はい>をクリックしてください。Windows の標準ユーザーで実行した場合、Windows の管理者アカウントとパスワードの入力が必要です。
3. アップデートが完了すると、セットアップ完了画面が表示されます。<閉じる>をクリックしてください。再起動を要求するメッセージが表示された場合はコンピューターの再起動を行ってください。